【教科別の評価規準】

国　語	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	社会生活に必要な国語について、その特質を理解し、適切に使っている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いやりや考えを深めたりしながら、言葉がもつ価値を認識しようとしているとともに、言語感覚を豊かにし、言葉を適切に使おうとしている。
評価方法 評価材料	○定期テスト ○小テスト	○定期テスト ○ノート・ワークシート （まとめの記述） ○作品（レポート、作文等）	○ノート・ワークシート等 （板書、ふりかえりの記述） ○行動観察 （グループ活動に取り組む姿勢、発言内容）